目標達成計画

作成日:平成30年4月23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に込められた意義を普段の生活の中で意識していく。	理念に込められた意義を再度確認し、また外部へ啓発していく。	・勉強会を通じて理念について考える時間を作る。 ・次回作成のパンフレットに理念を記載する。 ・午後の申し送りの時理念の唱和を行う。	1年間
2	2	地域から車のマナーに対する声が上がっている。	施設内、外での運転マナーの向上及び立ち居振る舞いの向上。	・職員への運転マナーの啓蒙を日々の申し送りや勉強会など通じ行っていく。	即時
3	4	・運営推進会議の参加者が利用者の様子を見る機会がない。 ・利用者のご家族の参加が出来ていない。	・運営推進会議に参加される方に施設の普段の様子を見ていただく。 ・ご家族に参加して頂く。	・利用者の生活風景を開催時に見ていただく。 ・ご家族に参加のお願いをしていく。	次回運営推進会議から
4	10	・家族からの感謝の言葉等を記録に残せていない ・意見を言い出しにくい家族への配慮	・記録を充実させる ・家族の意見を収集できる環境をつくる。	・家族からの感謝の言葉を記録を残す。 ・家族へのアンケートを行う。内容に関しては職員間で考える。 ・家族を交えたカンファレンスを半年に1回行う	6ヶ月
5	20	・利用者、一人ひとりの思い出の場所やなじみの場所へ行くことが出来ていない。	利用者の思い入れのある所を訪問する。	・利用者本人に行きたい場所を聞き取り外出する。 ・聞き取りが難しいときは家族や普段の会話の中から推測する。	1年間
6	33	・施設にAEDがあるがその使用方法についてすべての職員が適切に扱える状態にない	・AEDういすべての職員が扱えるようになる。	・勉強会もしくは外部研修にて適切な知識を学び、すべての職員が扱えるようにする。	1年間

7	35	地域との協力体制の構築	・防災訓練を地域の方と一緒にを行う ・日頃からの関係の構築	・運営+D13:E13推進会議の中で防災訓練を行うことを提案する。 ・中庭や地域交流室を貸し出す。	1年間
8	40	・検食後のコメントを残す。 ・食事介助の際の職員の会話には注意をする。	・食事に対する検討会を定期的を開催する。 ・介助の際の職員同士の会話の配慮	・勉強会の中もしくは検討会を別に開き改善を行う ・日々の業務の中から職員同士の会話についてお互いに現状を把握し意識を持って行う。	即時
9	49	家族と協力した外出支援	・身近な外出支援をご家族に伝え、家族と一緒に外出支援を行う。	・本人、家族に聞き取りや働きかけを行い一緒に外出できる機会や状態をつくる。	1年間
10	10	・居室の環境づくり	本人の思いに近い居室作りを目指す。	・職員のアイデアや家族に話を聞き、本人に適して環境整備を行う。 ・居室の移動は極力行わない。	随時

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。